

明治HDの統合によるグループ再編・業務効率化とは 未曾有の大「合理化」リストラである



明治乳業の工場を転々と十五年間、働いてきた外国人派遣労働者のジョゼ・マツムラ・セベリノ（ブラジル）さんが解雇され、いま明治乳業を相手に裁判（東京地裁）をおこし闘っています。セベリノさんは、明治乳業群馬工場でコンテナ詰め作業中に労働災害にあり二年以上も休業。症状固定で復職しましたが停不調により取り下がります。

なんでも労働相談

こんな時、お気軽にどうぞ

- 突然解雇された！
- 給料や手当が下がった！
- その他どんなことでも…

東京労働相談センター（東京地評内）

電話 0120-378-060

江東区労働組合総連合（江東区労連）

電話 03-5605-5285

明治乳業争議団センター

電話 047-332-5698

明治乳業争議支援共闘会議

連絡先 江東区労連 03-5606-5285

明治乳業争議団 047-332-5698

ホームページ <http://ms-64.web.infoseek.co.jp/>

セベリノさんは昨年十月、安全配慮義務違反による損害賠償請求、地位確認を求めて東京地裁に提訴しました。

明治乳業の横暴を許さず、闘いを支援しようではありませんか

乳明治 外国人労働者を解雇 いま撤回を求めて裁判が



四月一日に、乳業No.1の明治乳業と菓子メーカー明治製菓による経営統合によつて生まれた新生・明治ホールディングス（HD）。しかし、これは統合に付きものの大型リストラを内に含んだものです。すでに両社統合によるグループ再編計画の検討が急ピッチで進められており、具体的には運送業務など物流システムや、類似重複業務の集約一元化など相乗効果によるコスト削減を一段と強化することを「二年以内の早い時期に実施」すると公言し

ています。明治乳業も「聖域なきコスト改革の推進」なるものを、当面の中長期計画の目玉としています。具体的な内容は、本社業務見直しで「本社人員の削減」や「製造ライン配置の見直し」などが、すでに提起されており未曾有の大「合理化」は必至です。

明治グループ経営陣のいう「期待する効果」が働く人たちへの犠牲の上に成り立つことは、絶対に許せません。

働く人の犠牲許さない